

貴所における「保全経営力を高める仕組み（MOSMS）」構築導入のための

「MOSMS 講演」「保全水準評価（MOSMS 診断）」のご提案

1. 提案の主旨

拙書は、より貴工場の経営ロス・リスクを低減する体制構築（MOSMS体制の構築）に向けて、方針策定のお手伝いと導入のための「保全水準評価」（MOSMS 診断）をご提案させていただくものです。

この「保全水準評価」（MOSMS 診断）によって、貴所における技術力を含めた「保全のマネジメント力」を客観的、総合的に診断し、強みと弱みを見出すことができます。

なお、「MOSMS 診断」「MOSMS 講演」は、日本プラントメンテナンス協会の会員事業場に対してのみご提供させていただきます。

2. 提案の内容

具体的なお提案は、以下の内容となります。

(1) MOSMS 構築に向けた貴所での講演会「MOSMS 講演」

すでにご承知のように日本プラントメンテナンス協会は、計画主導で進める設備保全の仕組みとして、経営に資する「戦略的保全マネジメントシステム（MOSMS/Maintenance Optimum Strategic Management System）」構築研究を進めております。

このMOSMSは、「企業全体の最適化を図る保全の仕組みづくり」を目指し、「保全経営力」と「現場力」が一体となって管理サイクルが回り続けることをねらいとしています。

そこで、まず、工場経営者から現場管理者までの保全に関わる上位関係者各位が「MOSMSとは何か」をご理解いただき、貴所としてどのように「保全方針」を立てていくかを見出す必要があります。そのための講演会（およびその後の意見交換）をご提案いたします。

この講演会では、『MOSMS 実践ガイド』をテキストとすることが標準的です。

なお、講演会の参加者ですが、MOSMSは「保全戦略」「保全計画」「保全実行」および「保全の人材育成」をすべて含んだ仕組みの構築です。したがって、以下に申し上げます「MOSMS 診断」での参加者も同様ですが、トップから現場第一線管理者、外注先の管理者までのできるだけ多くの参加者が望ましいと考えています。

すなわち、管理者を含んだ人材育成の側面から、講演および診断への参加機会がそのまま人材育成につながるものととらえています。

なお、「MOSMS 講演」単独でのお引受けも可能です。

(2) 「保全水準評価」（MOSMS 診断）

上記によって見出された「保全方針」を受けて、どのように全体最適の仕組みをつくっていくか、その切り口を見出すために「保全水準評価」（MOSMS 診断）をご提案いたします。

「保全水準評価」（MOSMS 診断）によって見出された強みと弱みを客観的に分析し、次に何をしたらいいかをレポートとしてご報告します。

貴所におかれましては、これを参考とされ、トップ主導でより完成された仕組みづくりを行うことができます。

「保全水準評価」（MOSMS 診断）の具体的な内容は、4. 項に記します。

3. 会員事業場様との契約の締結について

「MOSMS 診断」「MOSMS 講演」は、日本プラントメンテナンス協会の会員事業場に対してのみご提供させていただきます。

2. (2)「保全水準評価」(MOSMS 診断)の内容は、貴所と小会における「MOSMS 構築の実証研究」としての契約締結に基づく形となります。

契約形態としましては、「MOSMS 構築の実証研究」契約のもとに、「支払いは、個別研究内容に対する別途覚書(個別確認書)等による」とすることなどが可能です。

4. 「保全水準評価」(MOSMS 診断)の詳細

プラントのすべてを対象とすると、日数・工程とも膨大となるため、まず特定の工場に限定して実施することをお勧めします。

貴事業場の現状の保全水準について管理的側面および技術的側面より評価し、設備管理上の重点管理項目を抽出するお手伝いをいたします。すなわち、MOSMS 診断は技術力を含めた「保全のマネジメント力」を総合的に診断するものです。

(1)「保全水準評価」の進め方

現状の保全水準を、「保全水準評価表」により分析します。

この進め方は、2段階になっています。

①自社での評価：事前評価

上記「契約」締結後に、「保全水準評価表」(エクセルファイル)をお送りします。

これを用いて、事業所では“簡単に”“率直に”自己評価をしていただきます。

JIPM 診断員が伺う前に、その結果を JIPM にお送りいただきます。

②MOSMS 診断員による評価

同じ「保全水準評価表」を用いて、MOSMS 診断員が現地で評価を行います。

ヒアリングおよび実地検分を行います。

②-1 ご参加者(ヒアリング)

設備管理に関わる方々にヒアリングします。

(例) 保全責任者、製造責任者、専門保全員、本社設備管理スタッフ

(例) 工場長、設備管理担当役員が出席されることもございます

②-2 ヒアリング内容

ヒアリングの内容は、「保全水準評価表」に記載してあります。

取り揃え資料のイメージは、これを参考にさせていただきます。

(2)「保全水準評価」は“ISO 監査”とは違います！

MOSMS の現状保全水準評価は、ISO 監査とは違います。つまり、「事前にたくさん準備をして臨む」ものではありません！

現状の「仕組み力」を評価しますから、普段着のまま、気軽に評価を受けていただきます。

ヒアリング資料も、「こういう資料はありますか」「はい」「では、お持ちください」という感じですが。たとえばこのとき、非常に時間がかかって資料が出てきたとしますと、なぜそれだけ時間がかかったかを見えています。5S ができているかどうかといった観点ではなく、本当にその資料が日ごろの仕事の中のサイクルに入っているかを見えています。

(3) 「保全水準評価」による分析

現状の保全水準を、総合的に次の視点で分析させていただきます。

①保全戦略

- ・ 経営による保全方針を達成するために、保全水準評価やロス・リスク評価による現状評価を行い、適切な保全戦略が策定されているか（全社および事業所で見ると）
- ・ 保全戦略に有用な情報の確定および共有化プロセスの設定がされた情報マネジメントの維持・管理が良好に実行されているか

②保全計画

- ・ 生産性向上や経済性を加味し、網羅的かつ重点的・計画的な保全計画が経営の合意の基に立案されているか
- ・ 保全計画策定・実行・評価のためのデータ管理の仕組みができているか

③保全実行：役割分担

- ・ 保全計画に基づき、保全員を「司令塔」として役割分担がなされているか

④保全実行：保全実行管理

- ・ 保全計画に基づき経済的で安全性の高い保全実行がなされているか
- ・ 日常業務の遂行の中で保全目標が達成される仕組みが織り込まれているか
- ・ 故障削減のサイクルができているか

⑤保全成果

- ・ 保全活動が成果を生み出し、経営に貢献しているかを評価する指標が設定され、確実な成果を挙げているか
- ・ 「保全データに基づく分析」が機能しているか

⑥保全人材

- ・ 経営レベルで要員計画や技術伝承が議論され、保全関係者の職務内容やレベルに応じた教育計画が計画され、継続的に実行されているか

(3) 全体最適の観点から重点管理項目抽出のお手伝い

「保全水準分析」の結果を、MOSMS（経営に資する保全マネジメントシステム）の観点から分析し、貴所における「保全のマネジメント力」の強み・弱みを見出し、今後の保全の仕組み改善にお役に立つ方向性をレポートご提出によってお手伝いさせていただきます。

(4) 診断員

専門の診断員が診断いたします。

5. 「講演会」と「MOSMS 診断」の料金

2. (1) 講演会と (2) 「MOSMS 診断」の標準的な料金は、次ページ表に示すものとなっております（単位は千円）。主旨としましては、これらすべてが保全人材を育成する側面を含んでいるものとご理解ください。

なお、移動費・宿泊費は、ご訪問の都度発生いたします。ご了承ください。

(1) 「MOSMS 講演会」料金について

「MOSMS 講演会」の基本料金は、200 千円/日となります。

なお、標準的には、出席者全員の方が『MOSMS 実践ガイド』を手元に置き、よく読むこと

としています。この場合は、出席者人数×『MOSMS 実践ガイド』実費頒布料金（8,400 円／冊）を加えていただきます。

(2)「MOSMS 診断」の料金

診断する規模によって異なりますが、基本パターンは下記表のとおりです。

- ・ 分析およびレポート作成は、1 週間をみていただきます
- ・ レポートは、電子メール等で送付いたします
- ・ 報告会ご希望により行いますので、個別に予算組みをしていただけます
- ・ 移動費・宿泊費は、ご訪問の都度発生いたします

(3)「保全水準評価」以降の別途メニューについて

導入診断の結果および貴所のニーズによって変わります。

MOSMS診断:基本パターン

単位	工場単位(サイト内1工場)
内容	保全戦略・計画・実行・評価のマネジメント状況

	項目	備考	日数	計
工程	事前講演会		1	200
	実施調査	調査票提供	2	500
	分析／報告書	MOSMS技術	7	500
	報告会		1	100
料金(移動費・宿泊費等別、本体価格(税別))				1,300

工場増加パターン

工場単位(サイト内複数工場)		
工場増加数		
+1	+2	+3

↓	↓	↓
200	200	200
820	1,100	1,340
740	950	1,130
100	100	100
1,860	2,350	2,770

- *「事前講演会」では、標準的に参加者全員が『MOSMS実践ガイド』を手元テキストとします。この場合、別途、参加人数×8,400円(『MOSMS実践ガイド』実費頒布料金)がかかります
- * 移動費・宿泊費は、ご訪問の都度発生します。対象は、講演会:講演者1名、MOSMS診断:診断員1名の費用です(JIPM事務局費用はご負担いただきません)

【本件ご連絡】

社団法人日本プラントメンテナンス協会 メンテナンス技術本部
〒108-0074 東京都港区高輪3-6-23 品川ビル8階
tel.03-6409-2703 fax.0120-451-467 e-mail: rd@jipm.or.jp